

平成26年度決算に基づく

薩摩川内市の財務書類を作成しました

本市では、市の所有する資産・負債を適切に把握し、健全で安定的な財政運営を行うため、国の示す新地方公会計モデル(総務省方式改訂モデル)に基づいて、平成26年度決算における財務書類(財務4表)を作成しました。

これにより、その年度にどのような収入があり、それをどう使ったかばかりでなく、市が整備してきた資産や借入金などの負債の情報、現金支出を伴わない減価償却費などの情報も明らかとなり、市の財政状況がより一層分かりやすくなりました。

今後、この財務書類をもとに、市の財政の実態把握、管理体制の強化を図り、一層の効率化・適正化を進めます。

2種類の財務書類を作成

市では、一般会計のほかに特別会計、企業会計など、目的別の会計を設け、市民生活に必要なさまざまな事業を行っています。

今回、地方財政の統計上の基本となる「普通会計」の財務書類(4頁参照)に加え、市の業務と関連のある一部事務組合や市が一定割合以上を出資している第三セクターなど、関係団体を含めた(下図)「連結財務書類」(5頁参照の2種類)を作成しました。

用語解説



■減価償却：固定資産の経済的価値が、時間の経過や使用などによって減少していくことを「減価」と言い、定められた耐用年数に応じ、費用を配分して計上する仕組みのこと

■普通会計：地方公共団体ごとに一般会計や特別会計などの範囲が異なるため、それを統一した基準で整理し、比較・分析などができるようにした統計上利用される会計区分のこと

■広域連合：広域にわたって処理することが適当であると認められる行政サービスの一部を、複数の普通地方公共団体や特別区が共同で行う組織で、特別地方公共団体の一つ

■地方三公社：地方自治体が全額出資して設立した土地開発公社・地方住宅供給公社・地方道路公社の三法人

4つの表で何が分かるの？

貸借対照表

年度末における「資産」「負債」「純資産」が分かります。
資産 = 負債 + 純資産
左右がバランス(一致)している表なので、バランスシートとも呼ばれています。
純資産の占める割合が高いほど、健全であると言えます。



借方	貸方
資産 (現在保有している資産)	負債 (将来世代の負担) *返済の義務あり
・固定資産 ・基金 ・貸付金 ・流動資産(現金・預金) など	・地方債 ・退職手当引当金 など
	純資産 (過去・現役世代の負担) *返済の義務なし
	・国県補助金 など

資金収支計算書(=キャッシュフロー計算書)

お金を「どうやって集め」「何に使ったか」一会計期間の資金の流れが分かります。
収支の性質によって、次の3つに区分されています。



期首資金残高(=前年度からの繰越金) ①	
資金収支額 ② *収入と支出の差額で、単年度に増減した現金	経常的収支 (人件費や物件費など、経常的な行政活動に係る収支)
	公共資産整備収支 (学校や道路など、有形固定資産形成のための収支)
	投資・財務的収支 (出資金や貸付金、地方債の償還などに係る収支)
期末資金残高(=翌年度への繰越金) ①+②	

行政コスト計算書

一会計期間において、どの事業に「いくらコストをかけ」「その財源が何か」が分かります。
民間でいう損益計算書にあたります。



経常行政コスト (行政サービスに伴い発生したコスト)
・人にかかるコスト(人件費など) ・物にかかるコスト(物件費、維持補修費など) ・移転支的コスト(社会保障給付など) ・その他のコスト(支払利息など)
経常収益 (行政サービスの対価として得られた収入)
・使用料、手数料 ・分担金、負担金 など
純経常行政コスト(=純粋なコスト) (経常行政コスト - 経常収益)

純資産変動計算書

純資産に影響を与える原因(一会計期間の変動内容)が分かります。



期首純資産残高 (年度当初の純資産残高)
・純経常行政コスト ・一般財源(市税など) ・補助金等受入 ・臨時損益 など
期末純資産残高 (年度末の純資産残高)

連結

薩摩川内市全体

- | | |
|--|--|
| 普通会計 | 一部事務組合 |
| ・一般会計
・天辰第一地区土地区画整理事業特別会計
・川内駅周辺地区土地区画整理事業特別会計
・入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計
・川内駅周辺地区土地区画整理事業清算事務特別会計 | ・鹿児島県市町村総合事務組合 |
| 公営事業会計 | 広域連合 |
| ・水道事業などの公営企業会計
・普通会計に含まれるものを除く特別会計(国民健康保険事業特別会計など) | ・鹿児島県後期高齢者医療広域連合 |
| | 地方三公社 |
| | ・薩摩川内市土地開発公社 |
| | 第三セクター |
| | ・(公財)薩摩川内市まちづくり公社
・(株)遊湯館
・(株)薩摩川内市観光物産協会
*出資比率が50%以上の団体・法人 |

用語解説

■現金主義(=単式簿記)：現金の収支だけを記録する会計処理のこと

■発生主義(=複式簿記)：現金の收受・支払に関係なく、その取引が発生した時点を基準に会計処理すること

新地方公会計制度による財務書類とは

新地方公会計制度とは、国の行財政改革である「資産・債務改革」の一環として、保有する資産や負債の状況を把握し、健全な財政運営を目指すとする取り組みです。これは、地方公共団体が通常適用している会計方式(現金主義)ではなく、企業の会計方式(発生主義)で作成されています。

本市では、新地方公会計制度に基づき、平成20年度決算から財務書類を作成し、公表しています。

財務書類は、貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書の4つの表から成り立っています。これらを作成することで、現金主義の会計制度では把握することが難しい資産や債務の蓄積情報、行政コストなどを把握することができます。